



方面	森下総監 着任	(1面)
1師団	児玉師団長 着任	(3面)
12旅団	訓練始め 年初飛行	(4面)
関東補処	柿野処長 着任	(5面)
1施設団	団戦技競技会	(5面)

# 森下総監が着任



儀じよう隊の荣誉礼を受ける森下総監

## 統率方針 「強靱な東部方面隊の創造」

### 要望事項 「克己」

第42代東部方面総監に森下 泰臣（もりした やすのり）陸将が12月22日付で陸上幕僚監部（陸上幕僚副長）から着任した。

12月23日、朝霞駐屯地大泉門で警衛司令の報告を受け初登庁した森下総監は、慰霊碑参拝の後、総監部庁舎前に降り立ち、儀じよう隊の荣誉礼・儀じようを受けた。

引き続き、総監部庁舎内で師・旅団長をはじめとする幹部挨拶を行い、その後、音楽広場にお

て着任式を挙行了。式典は日差しが温かい晴天に恵まれ、凛とした空気に包まれた中で行われた。着任の辞では「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針とし、作戦遂行能力を向上させるとともに、作戦基盤の充実と全力を傾注する決意を述べた。また、その具現化に当た

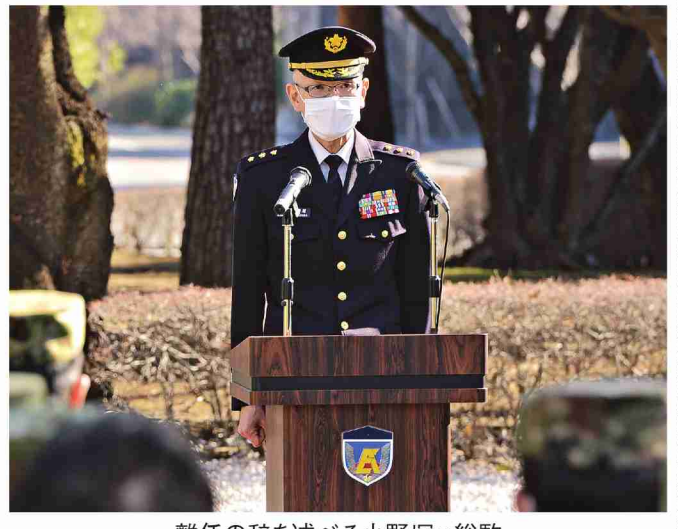
り全隊員に対して「克己（こっき）」を要望するとともに、全身全霊をささげ職務にまい進することを誓った。

その力強い言葉を受け、参列した全隊員は森下総監の指揮統率のもと、向上心と責任感を持って隊務に取り組む決意を新たに

小野塚前総監の退官に伴う離任行事が12月21日、朝霞駐屯地で執り行われた。

慰霊碑参拝・離任式の後、小野塚前総監は総監部庁舎内の各室を訪れ、隊員に対しこれまでの労をねぎらった。

小野塚前総監は令和元年8月23日、第41代東部方面総監として着任以来「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針として掲げ、方面隊の全隊員に対し「構え」「信頼」を要望し、「構え」「信頼」を



離任の辞を述べる小野塚前総監

## 小野塚前総監 勇退へ

この間、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風、令和3年熱海市土砂災害、豚熱・鳥インフルエンザ対応等の災害派遣、日米共同指揮所演習、陸上自衛隊演習等の各種演習、新型コロナウイルス感染症対応、即位の礼、東京2020オリンピック・パラリンピックといった国家的行事支援、観閲式等、多種多様な活動の指揮を執り、多大な功績を残した。

## 第四十二代 東部方面総監 森下 泰臣

生年月日	昭和40年12月24日
出身地	福岡県久留米市
学歴	防衛大学校（第32期）
主要経歴	
平成22年	第71戦車連隊長（北千歳）
平成24年	陸上幕僚監部防衛部防衛課長（市ヶ谷）
平成26年	中部方面総監部幕僚副長（伊丹）
平成27年	富士学校機甲科部長（富士）
平成29年	陸上幕僚監部人事教育部長（市ヶ谷）
平成30年	陸上幕僚監部防衛部長（市ヶ谷）
令和元年	第2師団長（旭川）
令和2年	陸上幕僚副長（市ヶ谷）

## 総監 着任の辞

十二月二十二日付をもって第四十二代東部方面総監を拝命した森下陸将である。

私の尊敬する小野塚陸将の後任としてこの場に立ち、首都圏を含む一都十県の防衛警備等に任ずる東部方面隊を指揮統率するという重責に身の引き締まる思いである。

さて、現在の我が国を取り巻く安全保障環境は、国家間のパワーバランスの変化が加速化、複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性の増大を背景に、純然たる平時でも有事でもない、いわゆるグリーンゾーンの事態が長期にわたり継続する傾向にあるとともに、軍事力のさらなる強化や軍事活動の活発化が顕著となり、より重大な事態へと急速に発展していくリスクに直面している。

また国内においては、首都直下地震や南海トラフ地震のほか、近年頻発している記録的な集中豪雨などの発生も予想されるとともに、新たな災害の形態となっている新型コロナウイルスなどによるパンデミックは、今後予期される各種事態との複合化を含め、新たな脅威となっている。

このような情勢認識の下、いづつ如何なる事態にも対応するため、東部方面隊を指揮統率するに当たり、歴代総監が掲げてきた「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針とし、方面隊の作戦遂行能力を向上させるとともに、作戦基盤の充実と全力を傾注する所存である。

東部方面隊は、我が国の政治・経済的な中枢地域を担任し、国家の存亡を託された方面隊であるといっても過言ではない。このため、我々は諸先輩方が営々

と築かれた伝統を継承しつつ、環境変化に対応し幹部、陸曹、陸士、各個人の能力を向上させるとともに、部隊としての戦力向上を図り、あらゆる事態に対応し得るよう、方面隊全体としての作戦遂行能力を向上させて、変革し進化し続けなければならない。

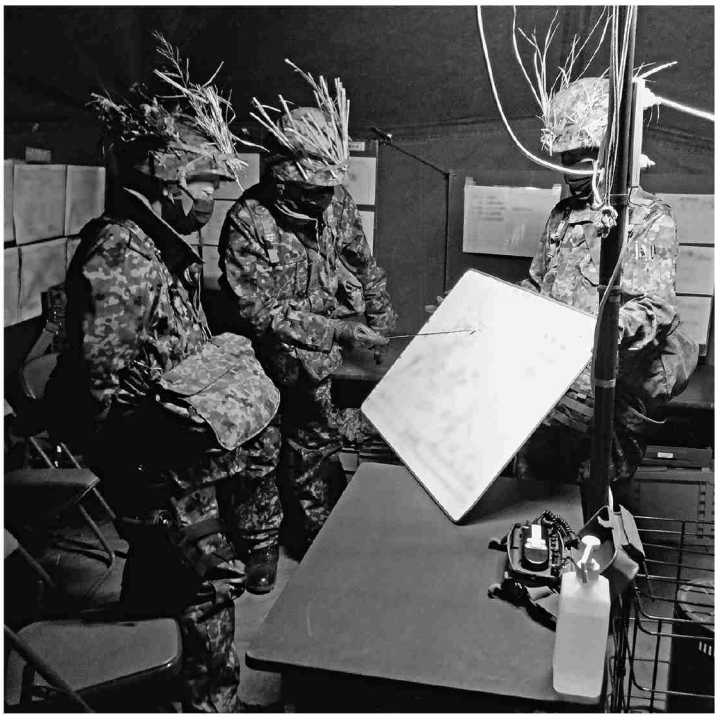
さらに、作戦遂行力の向上に加えて、方面隊として師団・旅団が任務遂行するために、人的・物的戦闘力の維持・増進、そして地域・関係諸機関等との連携を強化する等の作戦基盤を整え、充実させる必要がある。

その上で、この統率方針の具現化にあたり、方面隊所属隊員全員に一点、「克己（こっき）」を要望する。我々は服務の宣誓のなかで「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め」と誓っているとおり、重要な場面ではその覚悟が必要であり、事態に即応するためにも心身の準備をしなければならぬ。そのためには、先ほど各個人の能力向上について言及したが、自らを向上するための第一は、己の弱みに打ち勝ち、一歩踏み出すことである。方面隊所属隊員全員が向上心と責任感をもって隊務に取り組むことにより、「強靱な東部方面隊」を創り上げることができると思

以上、着任に当たり所信の一端を述べたが、諸官とともに全身全霊を捧げる覚悟で職務に邁進することを誓い、着任の辞とする。

令和三年十二月二十三日  
東部方面総監  
陸将 森下 泰臣

# 訓練の成果を最大限発揮 東富士、相馬原で方面隊訓練検閲



東部方面会計隊長(左)に状況を報告する幕僚



野外燃料交付所を開設する東部方面後方支援隊の隊員

## 災害対処能力の向上を図る 首都直下地震対処計画TTX



首都直下地震対処計画の概要説明を受ける總監及び各隷下部隊長

方面隊は1月19日、朝霞駐屯地において、首都直下地震対処計画のTTX(机上演習)を実施し、各指揮官等の認識統一を図った。

訓練には總監及び各隷下部隊長等が参加し、首都直下地震対処計画の概要について把握した後、計画に基づき、時系列に沿って発災から72時間を焦点に演習を行った。

方面隊は今回のTTXを通じ、本計画の理解を深め認識を共有するとともに、いかなる事態にも対応できる作戦遂行能力の向上及び計画深化のための資を得た。



講話を行う總監

## 方面隊への信頼感を醸成 東桜会、オピニオンリーダー会主催の防衛講話

方面隊は1月14日、都内において東部方面隊東桜会及び東部方面隊オピニオンリーダー会主催の防衛講話等に協力し、方面隊への信頼感の醸成及び自衛隊の活動に関する理解の深化を図った。

總監による講話は、新型コロナウイルス感染症対策処置を行った上で「陸上自衛隊の現状」をテーマに実施され、約50人の参加者は熱心に聴講されていた。

方面隊は12月9日から15日までの間、東富士演習場、相馬原演習場及び各会計隊所在駐屯地において、東部方面後方支援隊及び東部方面会計隊に対して令和3年度第1次方面隊訓練検閲を実施した。

本検閲は、武力攻撃事態等々の方面隊の本格的陸上作戦における東部方面後方支援隊及び東部方面会計隊の行動を検閲し、各指揮官の状況判断及び各職種の業務を重視して教育訓練の成果を評価・判定するとともに、その進歩向上を促すことを目的として実施した。

この際、一連の状況下において、コア部隊(補給大隊及び弾薬中隊)に

おける即応予備自衛官の招集、補給・整備・回収・輸送等の支援業務や会計支援など、各業務に関する状況付与のほか、敵の偵察衛星、高高度偵察ド

ローン等による偵察、サイバー攻撃、弾道ミサイル攻撃等の現代戦の様相を踏まえた状況付与により「最後まで生き残り、支援業務を継続して任務

を完了するための行動」について確認した。

訓練検閲の開始に当たって統裁官(幕僚副長(防衛))は、各受閲部隊に

対して「この訓練検閲に

い。さらに部隊としての

高い意識を持つことも



対空警戒をする東部方面後方支援隊の隊員



小銃を整備する東部方面後方支援隊の隊員



指揮所を開設する東部方面会計隊の隊員

に、各級指揮官は隊員個々に関心を持って自ら指揮・監督せよ」と訓示した。また要望事項として「任務完了のため、教育訓練の成果を最大限に発揮せよ」「安全管理、健康管理、情報管理及び物品管理の徹底」の2点を掲げた。

本検閲は寒度を下回る気温と強い風が吹き荒れる厳冬の中で行われたが、両部隊の隊員は最後まで士気高く、これまでの教育訓練の成果を最大限に発揮して任務を完了した。

第1師団

統率方針

# 児玉陸将 第40代師団長に着任

## 「全ては任務が基準」

第40代師団長として児玉恭幸(こだま やすゆき)陸将が12月22日付で着任した。

児玉師団長は練馬駐屯地において、慰霊碑に献花した後、儀しよう隊の

栄誉礼を受け着任式に臨んだ。

着任式においては、師団各部隊が整列する中、儀しよう隊及びひらっぱ隊の行進儀しようにより式場に入場した。

着任の辞の中で師団長は「統率方針は『全ては任務が基準』である。師団の主要な任務である首都圏の防衛と首都直下地震対応の任務遂行上、それぞれその訓練・業務はプロセスになるのか? 訓練・業務を行うことで部隊が強くなるのか? が私の唯一の判断基準である。教育訓練・情報・兵站は言うまでもないと思うが、表彰・懲戒・広報・厚生業務や休暇の与え方等、陸自の業務のあらゆる分野に部隊を強くする方法や要領があるはずであり工夫をしてもらいたい。

我々の存在意義は、防衛・警備の任務を完遂することにある。任務を完遂できない部隊に存在意義はない。司令部幕僚はもろろん、各級指揮官及び一隊員に至るまで、任務遂行を基準に考え行動せよ」と述べるとともに「創造的破壊への挑戦」「地域との連携の強化」「迷ったら報告せよ」「家族を大切に」の4点を要望した。

着任式に儀しよう隊長として参加した第1普通科連隊第4中隊の阿賀

3尉は「第1師団の第一印象となる儀しよう隊の任務の重責を自覚し、その威容を示すため、一挙手一投足を気を配り、全力で臨みました。儀しよう隊という貴重かつ光栄な任務を担当できたことを大変誇りに思います」と話した。また、らっぱ隊長として参加した同連隊第3中隊の安川3曹は「伝統ある第1師団の吹奏技術・基本教練の練度を顕示する強い気持ちで、着任式に臨みました。第1師団から訓練では連隊長木場

つば隊は日本一であり、日本一のらっぱ隊の先頭を歩けて光栄でした」と話した。

第32普通科連隊は12月1日から15日までの間、アメリカ合衆国ワシントン州ヤキマ演習場において令和3年度米国における陸軍との実動訓練(ライジングサンダー21)に参加した。

1佐以下、約130人の隊員と、米陸軍第2歩兵師団第2ストライカー旅団戦闘団に所属する第17歩兵大隊C中隊基幹約140人が共同して、日米普通科(歩兵)部隊の相互運用性及び戦闘技量の向上を図った。

本訓練の山場となる総合訓練では、日米の対戦車ヘリコプターによる共同攻撃準備射撃、迫撃砲による共同前進支援射撃、狙撃班による共同で敵部隊減殺等の共同作戦を実施し、それぞれ所望の成果を獲得した。

狙撃班長として参加した本部管理中隊の阿部1曹は「言葉の壁に不安があったが、訓練を重ねるうちに相互に打ち解け合い、意思疎通が図れるまでになった。特別にお互いの観測手を入れ替える射撃など貴重な体験をすることができ、日米両国の絆が深まることを肌で感じることができた」と話した。



第40代師団長の児玉陸将



行進儀しよう



慰霊碑に献花



クラリネットとマリンバによる混合5重奏

### 第7回室内楽演奏会 小編成の重奏 観客を魅了!

第1音楽隊は12月21日、光が丘IMAホール(練馬区)において、第7回室内楽演奏会を実施した。

本演奏会は各個演奏技能及び小編成合奏能力の向上を図る目的で行われ、一般市民の自衛隊に対する親近感の醸成を図る事ができた。

室内楽とは小編成での重奏であり、本演奏会は8組による演奏が行われた。普段聴くことのできないパートごとに分かれた演奏や、小編成の重奏に、会場に集まった大勢の観客は大きな拍手を送っていた。

来場者は「一人一人の音がきかれて楽しかった。次のコンサートも聴きに行きたいです」と感想を語った。

第1普通科連隊は12月11日、硫黄島協会及び米国防務軍人会が主催する日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼式に、防衛省自衛隊を代表する旗衛隊として参加した。

追悼式は硫黄島において散華された日米両国の英霊を感念・顕彰し、その冥福を祈念することを目的としている。

硫黄島戦没者合同慰霊追悼式は平成7年に第1回が開催されてから今回で22回目となり、当日は天候にも恵まれ、晴天の中での厳かな式となった。



国旗を奉じる日米両国隊員

### 戦没者の冥福を祈念 硫黄島で日米合同慰霊

大庭前師団長は12月21日、師団長交代に伴う離任行事に臨んだ。

大庭前師団長は令和元年8月着任以来、統率方針として「汗と心」を掲げ「楽しく全力を出そう!喜んで全力を出せよう!」を要望事項として部隊を指揮した。

駐屯地を離れる際は、師団隷下部隊により盛大な見送りを受け、駐屯地を後にした。

## 将 陸 児玉 恭幸

- 平成19年 第1空挺団特科大隊長 (習志野)
- 平成21年 陸上幕僚監部運用支援・情報部 運用支援班長(市ヶ谷)
- 平成23年 第6特科連隊長 (郡山)
- 平成25年 陸上幕僚監部人事部 募集援護課長(市ヶ谷)
- 平成27年 第1空挺団長 (習志野)
- 平成30年 陸上幕僚監部監察官 (市ヶ谷)
- 平成31年 教育訓練研究本部副本部長 兼ねて総合企画部長(目黒)
- 令和2年 第13旅団長 (海田市)



射弾の判定及び射撃の修正を演練

### 特科火力の威力・戦場の実相を体感 各種観測能力の向上を図る

師団は11月29日から12月11日までの間、北富士駐屯地、富士駐屯地及び東富士演習場において、令和3年度師団観測者集合訓練を実施した。

本訓練は第1特科隊長を担任官とし、第1普通科連隊、第32普通科連隊、第34普通科連隊、第1戦車大隊、第1施設大隊、第1偵察隊及び第1飛行隊から計24人が参加し、各部隊観測者要員の目標位置の決定、射撃の修正等の観測能力向上を目的として、実射訓練の場を活用し、練度を向上させた。

また特科火力の威力を実感することにより、戦場の実相を意識でき、実

### 大庭前師団長 離任



隊員に見送られる大庭前師団長

大庭前師団長は12月21日、師団長交代に伴う離任行事に臨んだ。

大庭前師団長は令和元年8月着任以来、統率方針として「汗と心」を掲げ「楽しく全力を出そう!喜んで全力を出せよう!」を要望事項として部隊を指揮した。

駐屯地を離れる際は、師団隷下部隊により盛大な見送りを受け、駐屯地を後にした。

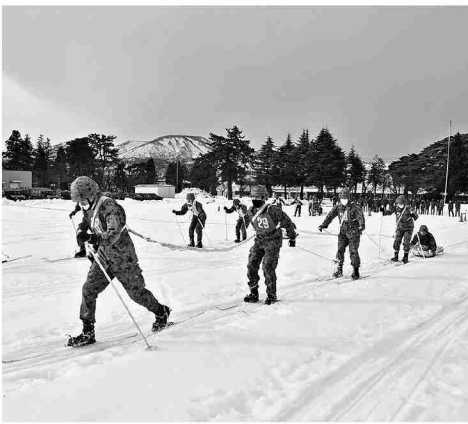
第12旅団

令和4年の幕開け

各駐屯地で訓練始め



中隊対抗綱引 第13普通科連隊(松本)



スキー・かんじき機動 第2普通科連隊(高田)



持続走と年男による新年の抱負 第30普通科連隊(新発田)



榛名山を背に年初編隊飛行訓練 第12ヘリコプター隊(相馬原・北宇都宮)



雪化粧した東富士に陣地進入したF-70

12特

令和3年度第4次隊野営

新春から東富士に陣地占領

第12特科隊は1月9日から13日までの間、東富士演習場において攻撃における特科隊の行動を演練して、その練度を向上させる目的で令和3年度第4次隊訓練を実施した。

本訓練は目前に控えた第2回旅団検閲を見据え、その想定に基づき、夜間行進に引き続く2夜3日の状況で実施され、主要

演練項目に旅団の攻撃における特科隊の行動、重視事項に隊本部の幕僚活動、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作をそれぞれ掲げた。

2夜3日にわたる状況下において、陣地占領及び陣地変換を反復するとともに各種状況への対処要領について演練するなど、逐次指導の節節を設け適切な行動に至るまで反復演練を行い、所望の成果を得た。

12特は本訓練の成果をじ後の訓練に反映するとともに、検閲に向け万全の態勢を整えた。

新春の正月気分も冷めやらぬ1月7日、受閲部隊は訓練に先立ち隊容検査を実施、9日に東富士演習場へ移動し、夜もふけた午後9時頃から車両による夜間行進を開始。翌10日には陣地進入を完了し、射撃任務に備えた。その後、敵警戒部隊への射撃任務を行うとともに、射撃陣地の補備・強化、じ後の陣地変換の

ための偵察等を行った。昼夜を問わず射撃任務を継続し、戦況の推移に合わせて陣地変換を行い次なる任務に万全を期した。

旅団は1月13日、相馬原駐屯地において「令和4年度旅団隊務運営計画」第1次指示を行い、旅団隷下各部隊長等に対し、4年度の方針を示すとともに、所要の事項



持続走 第12後方支援隊(新町)



旅団司令部年頭行事において祈願ダルマに目入れを行う幕僚長

は相馬原駐屯地上空周辺において年初編隊飛行訓練を実施し、航空安全を祈願した。この他、第12後方支援隊、旅団司令部などがそれぞれの駐屯地

において持続走訓練を実施して心地よい汗を流し、新年を始動した。旅団司令部及び各部隊はそれぞれ訓練始め、祈願ダルマの目入れなどを通

じ、訓練の安全を祈願するとともに、団結の強化及び士気の高揚を図った。

30普通科連隊管理中隊の年男渡邊3曹は、持続走訓練に先立ち行われた年男による新年の抱負において「健康と健全な体づくりをトライしていきたい。寅年だけに」と隊員の笑いを誘いつつ決意を新たにした。

旅団にとって令和4年が輝かしいものになることを願う。

旅団隷下各部隊は1月6日から14日にかけて、それぞれの駐屯地において訓練始めなどを行い、令和4年の訓練をスタートさせた。



各部隊長とともに祈願ダルマに目入れを行う旅団長

援、国際任務の態勢の維持、新型コロナウイルス感染症への対応や豚熱、林野火災に伴う災害派遣等、昼夜を問わず尽力する旅団の隊員の労を多く「旅団の隊員の労を多くしたい」と隊員をねぎらうとともに「任務」は我々の全てである。各級指揮官はこの事を肝に銘じ、即応性の高い精強な部隊を育成するため、執念をもって日々練成に励み、あらゆる任務に即動し、持続し、完遂せよ」(要旨)と訓示し「4年度においてもコロナ禍の影響を受けるだろうが、そんな中でもしっかりと隊務を運営していかねればならない」と述べた。



訓示を述べる旅団長

今後旅団は坂本旅団長をはじめ、各部隊長を核心として、来る4年度に向け着々と準備を進める。

12音

厳冬の新潟をホットに 長岡市及び田上町で演奏会



演奏する第12音楽隊 田上町交流会館(写真上) 長岡市立劇場(写真下)

12音はコロナ禍により演奏披露の場が減少する中でも、演奏技術の練成を日々重ね、その実力を磨いている。

の影響を受け度々中止になったため令和2年9月以来となる。公演では、鬼滅の刃メドレーや美空ひばりメドレー、また12月の公演に合わせたクリスマスソングなど若者男女が楽しめる選曲で大いに盛り上げ、来場者は盛大な拍手で応えた。アンコールを含め全10曲を演奏披露し、厳冬の長岡市及び田上町の会場は音楽の熱気で包まれた。

# 関東補給処 第18代処長に柿野陸将 着任 副処長に池田陸将補

第18代関東補給処長に 12月22日付で補給統制本部副部長(十条)から柿野正和(かきのまさ)陸将が着任した。柿野処長は22日夕方



着任行事に臨む柿野処長



着任した池田副処長

本部署(舎)関前において副処長以下各部長等の出迎えを受け、記念撮影を実施した後、着任行事に臨んだ。着任行事において柿野

を要望する。諸官らの先頭に立ち、使命を遂行することを改めて誓い、着任の辞とする(要旨)と述べた。関東補給処は柿野副処長を核として任務にまい進していく。

また同日付で関東補給処副処長に、教育訓練研究本部研究部長(目黒)から池田孝一(いけだこういち)陸将補が着任し、紹介行事において挨拶を述べた。

## 霞ヶ浦駐屯地成人式 新成人 決意を新たに

霞ヶ浦駐屯地は1月14日、駐屯地講堂において成人式を実施し、駐屯地



感染症対策を施し挙行される成人式



答辞を述べる新成人

新成人は柿野駐屯地司令をはじめ来賓、駐屯各部隊長及び先輩隊員たちが見守る中、壇上で抱負と決意を述べた。

## 新型コロナウイルス感染症対策 基本に立ち返り再徹底を

霞ヶ浦駐屯地業務隊医務室は1月24日、所有する救急車の窓や医療用機器等の消毒作業を実施する



消毒を実施する隊員

仕切りのための養生を再度点検し、補修修正を行った。閉ざされた空間

忘れるな」という式辞に対し、新成人を代表して誘導武器部の中村士長が「私たちが育ててくれ

た、両親や家族に感謝の気持ちや伝えることも、自己の責任に対して覚悟を持って歩んでいく

## 35年余の勤務終え 小瀬前処長退官 若松前副処長は第8師団副師団長へ

小瀬前処長は令和2年8月に第5旅団長(帯広)から着任以降、「全ては被支援部隊の為に」を要望事項とし、1年4カ月及ぶ勤務を終え、12月22日付で勇退の運びとなった。小瀬前処長は21日の離任式において「勤め上げられたのも良き上司、素晴らしい部下に恵まれたからだ」と信じています。新しい処長を核に、関東補給処として第一線部隊を支えてい



着任した池田副処長

## 第1施設団 2年振り古河に集う 令和3年度団戦技競技会 戦技は平時における実戦の場

施設団は12月12日から14日までの間、古河駐屯地において令和3年度団戦技競技会(持続走・銃剣道)を実施した。本競技会については、昨年度は部隊ごと各駐屯



ゴール前のデッドヒート



果敢に攻める選手

び40〜49歳の部の大浦1尉は2連覇を達成した。14日は銃剣道競技会が行われ、部隊の規模に応じて区分した団体戦と階級等ごとの個人戦を実施した。団体戦では各部隊の名誉をかけ、迫力のある試合を行い、熱戦を繰り広げた。団戦技競技会へ参加した隊員たちは、日頃の練習成果を発揮し、部隊の団結をさらに強固なものにすることができた。

### 団戦技競技会優勝部隊隊員の紹介

- 【部隊対抗の部(施設群及び器材隊)】 第4施設群
- 【部隊対抗の部(施設隊)】 第307施設隊
- 【中隊対抗の部】 第4施設群 第388施設中隊
- 【小隊対抗の部】 第307施設隊 渡河交通小隊

### 【個人の部】

- 24歳以下 301文車 士長 大川 維吹
- 25〜29歳 307施 3曹 望月 賢人
- 30〜39歳 5施群 2曹 梅澤 孟
- 40〜49歳 4施群 1尉 大浦 大介
- 50歳以上 101施器 曹長 田宮 勝利
- 女性自衛官 5施群 1曹 須貝 奈奈子

### 団銃剣道競技会優勝部隊隊員の紹介

- 【部隊対抗の部(施設群及び器材隊)】 第4施設群
- 【部隊対抗の部(施設隊)】 第307施設隊
- 【中隊対抗の部】 第4施設群 第364施設中隊
- 【小隊対抗の部】 第307施設隊 施設小隊(C)

### 【個人戦】

- 幹部の部 4施群 2尉 武田 実
- 陸曹の部 5施群 1曹 坂詰 忠司
- 陸士の部 306施 士長 武田 麗平
- 新隊員の部 101施器 士長 辻村 貴之
- 女性自衛官 301文車 3曹 西阪 冨耶

## ジブチとの信頼醸成に寄与 災害対処能力強化を支援

施設団は10月22日から12月24日までの間、ジブチ共和国において、令和3年度ジブチ国防軍に



グレーダの操作要領を説明する派遣隊員



油圧のエンジン部分を説明する派遣隊員

する災害対処能力強化支援を実施した。本事業は、ジブチ共和国政府との信頼醸成及び関係強化に寄与する事を目的として行われている。

派遣団長永田2佐を通じて、両国間相互の友好及び信頼感の醸成に寄与して、約2カ月間にわたる任務を終え帰国し、1月21日、総監及び施設団長への帰国報告をもって、全ての活動を終了した。派遣隊員は本教育支援

7オロ7-集集中

### シ通群

## 装備品展示を支援して 地域住民へ自衛隊をアピール



来場者から質問を受ける東部方面システム通信群の隊員

東部方面システム通信群は1月9日、自衛隊東京地方協力本部が「こまえ初春まつり」で実施した広報活動において、装備品展示を支援した。当日は東京都狛江市の緑地公園グラウンドにて、本中部隊及び第105指揮所通信大隊の隊員が、小型トラックと野外通信システムを展示するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ運転席・助手席への乗車体験を支援して、自衛隊のアピールに寄与した。

来場者からは隊員に対して、普段の生活環境や訓練等の質問があり「自衛隊員の実験を聞いたことで自衛隊へのイメージが変わった」という感想の声も聞かれた。



多くの来場者でにぎわった展示会場

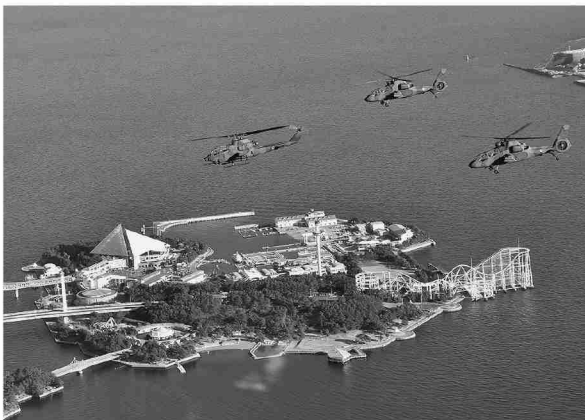
シ通群は今回の支援を通じて、自衛隊への理解を増進することができた。

## 航空隊 航空隊一丸となり 年始編隊飛行訓練完遂

東部方面航空隊は1月18日、立川駐屯地及び周辺上空において編隊飛行及び土気の高揚を図るとともに、航空安全の祈願



訓練開始式で訓示を述べる航空隊長



八景島シーパラダイス上空を飛行する編隊



訓練開始式で団結する航空隊

を目的として「年始編隊飛行訓練」を実施した。訓練開始式で訓練指揮官である航空隊長は、全隊員が心を一つにして、今年1年の安全と任務の完遂を祈願するよう訓示した。

編隊飛行訓練では立川駐屯地から編隊(UH-1J×1機、OH-1×2機、AH-1S×6機の計9機、この他に任務機2機)が隊員の見守る中、青空に向かって離陸し、相模原く平塚く三浦半島

く横浜などの上空を飛行した。また本訓練に対し総監の訓練視察を受け、方面

直轄部隊としての任務完遂及び航空安全への決意を新たに示した。上空で解散した編隊は、立川駐屯

地及び木更津駐屯地にそれぞれ帰投し、令和4年最初の訓練を滞りなく終了した。 関連2の面

## 技能向上のため、全精神を吹奏に傾注

### 後支隊

### 特技「初級らっぱ」集合教育



助教の指導の下、練成に励む隊員

東部方面後方支援隊は1月11日から、朝霞駐屯地において令和3年度陸士特技「初級らっぱ」集合教育を開始している。らっぱ吹奏は号令、命令、警報等を伝え、士気を高揚させ、隊容を整え、敬意を表することを目的とし、その吹奏の良否が部隊の任務達成に影響するため、教育は正確な信号伝達要領を修得させることを主眼としている。

本集合教育は東部方面輸送隊が担い、第104全股支援大隊、東部方面輸送隊、東部方面衛生隊の3コ部隊から12人が参加している。

本教育は3月11日までの間、5回にわたる練度判定、学科試験、個人及び合同での吹奏による特



東部方面音楽隊による技術指導



集合教育開始式の様子

技検定を実施予定である。被教育者は呼吸法や発音、タンギング(管楽器の最も基本的な奏法)等の基本奏法から段階的に訓練を積み重ね、最終的に楽曲を約25曲吹奏できるように、日々練成に励んでいる。

## 情処隊 YS-81に参加して

### 東部方面情報処理隊 1等陸尉 高田 正直

東部方面情報処理隊所属の8人の隊員は、11月23日から12月13日までの間、伊丹駐屯地で行われた



集中して任務に取り組む東部方面情報処理隊の隊員

YS-81に参加し、対抗部隊課で勤務しました。私は「作戦上、脅威の高い目標」を偵

知することを主眼に情報運用を検討して、日・米の担当者調整を実施しました。情報共有の手段としてクロノロジー(情報時系列)で並べたシステム)を活用しましたが、演習が始まり、特に戦術が激化する

本演習間もこれまでの諸先輩の指導が役に立ちましたので、私も受け継いだものを深化し、しっかりと次に伝えていきたいと思ひます。

生起しました。その際はフォローアップを發揮し、担当への直接伝達等による情報共有に留意し、

「為すべき事を為す」ことが任務達成に繋がることが、今回のYS-81に参加して改めて認識しました。

# 多彩な曲目で600人の来場者を魅了

## 第75回東部方面音楽隊定期演奏会

東部方面音楽隊は12月5日、和光市民文化セン

にて、方面隊に対する親近感の醸成と防衛基盤の育成を目的として第75回



定期演奏会を実施した。本演奏会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのさまざまな対策

を講じた上で、約600人の来場者を得て行われた。

第1部ではサン・サーソンの「英雄行進曲」やA・リードの「アルメニア」の来場者を楽しませた。

野田士長は「今回の定期演奏会で演奏ができる喜びを改めて実感しました。来場者の皆さまを元気にできる音楽隊員でありたいと強く感じました」と語った。

式で使用された「ドラゴングエストパート」や序曲「やんぱつ」等の耳なじみがある親しみやすい曲を演奏し、幅広い世代の来場者を楽しませた。

トロンボーン奏者の野田士長は「今回の定期演奏会で演奏ができる喜びを改めて実感しました。来場者の皆さまを元気にできる音楽隊員でありたいと強く感じました」と語った。

第1部ではサン・サーソンの「英雄行進曲」やA・リードの「アルメニア」の来場者を楽しませた。

野田士長は「今回の定期演奏会で演奏ができる喜びを改めて実感しました。来場者の皆さまを元気にできる音楽隊員でありたいと強く感じました」と語った。

# ある！ある！自衛隊

byとむえ



高度な技術で来場者を魅了した第1部

# 方面隊の任務完遂を祈願

## 総監部年始行事、航空隊年始飛行



祈願ダルマを目入れをする総監

総監部は1月6日、年始行事を実施した。当初、慰霊碑に献花・参拝し、続いて体育館にて祈願ダルマへの目入れをして、東部方面隊の任務完遂を祈願した。

また18日、総監は東部方面航空隊の年始編隊飛行訓練を視察し、航空隊の任務遂行能力を確認した。

新年を迎え、方面隊は決意を新たに「強靱な東部方面隊」へさらなる一歩を踏み出していく。



アナウンサーと記念撮影をする重春3海曹(左)と古川1尉(右)



ふじくん(左)とかえでちゃん(右)

山梨地本は今年も、県内で広報活動を計画中であり、広報官は「隊員を見かけたら、気軽に声を掛けていただきたい」と話している。



親しみやすい曲で来場者を楽しませた第2部

自衛隊山梨地方協力本部は1月24日、宇都宮市のコミュニティFM放送局「ミヤラジ」の番組に出演した。

「ミヤラジ」は宇都宮市の情報を細かく伝える地域放送局であり、防災情報の発信及び災害時における情報の発信も行っている。山梨地本は放送局からの依頼で定期的に出演しており、今回は募集班長 古川1尉と広報係の重春3海曹の2人が、アナウンサーからの質問に

質問に答える形で自衛隊について紹介した。「制服を見ると緊張します」というアナウンサーの一言から、まずは制服の話となり、古川1尉は「迷彩服は生地が固そうに見えるが動きやすく、燃えにくい素材で作られています」と話した。

重春3曹は「自衛隊の広報イベントでは大人も子どもも楽しめるよう、さまざまなサイズの制服が試着できます」と紹介した。

また「胸のところに付いているカラフルで可愛いものは何ですか」との問いには「防衛記念章」として、仕事上の功績や勤続年数等が増えていきます」と説明した。

アナウンサーからの質問には「自衛官にはどんな人が向いていると思いますか」との質問には、古川1尉が「ほとんどの人が向いている仕事があると思います。自衛隊は訓練するばかりのイメージを持

# 山梨地本 年末年始！ 県内各地で広報活動

自衛隊山梨地方協力本部は年末年始、県内各地において広報活動を実施した。

12月18日、河口湖ショッピングセンターBELI(山梨県富士河口湖町)において広報活動を実施し、クリスマスの買い物

など来場した方々に、自衛隊のグッズを配布した。特に山梨地本マスコットキャラクターの「ふじくん」「かえでちゃん」のシリーズ化された缶バッジは、小さい子どもを中心に好評を博した。

また1月8日には、甲府駅及び甲府中央商店街において広報グッズの配布を行った。年始にちなんで自衛隊カレンダーを配布した他、採用試験に

り紹介したチラシ入りのマスクを配布した。山梨地本は今年も、県内で広報活動を計画中であり、広報官は「隊員を見かけたら、気軽に声を掛けていただきたい」と話している。

# 栃木地本 地元ラジオで情報を発信

## 「ミヤラジ」で制服等を紹介

自衛隊栃木地方協力本部は1月24日、宇都宮市のコミュニティFM放送局「ミヤラジ」の番組に出演した。

「ミヤラジ」は宇都宮市の情報を細かく伝える地域放送局であり、防災情報の発信及び災害時における情報の発信も行っている。山梨地本は放送局からの依頼で定期的に出演しており、今回は募集班長 古川1尉と広報係の重春3海曹の2人が、アナウンサーからの質問に

質問に答える形で自衛隊について紹介した。「制服を見ると緊張します」というアナウンサーの一言から、まずは制服の話となり、古川1尉は「迷彩服は生地が固そうに見えるが動きやすく、燃えにくい素材で作られています」と話した。

重春3曹は「自衛隊の広報イベントでは大人も子どもも楽しめるよう、さまざまなサイズの制服が試着できます」と紹介した。

また「胸のところに付いているカラフルで可愛いものは何ですか」との問いには「防衛記念章」として、仕事上の功績や勤続年数等が増えていきます」と説明した。

# 訓練所感

第117教育大隊 第326共通教育中隊 3等陸尉 久木田大

## 「新隊員区隊長業務を通じて」

員53人に対し「共に」と「明るく前向きに」を要望事項として教育を実施し、あわせて本新隊員教育期間の中で出会った同期や班長の教えは一生の宝物(思い出)になるので大事にしたいと伝えました。

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、新隊員として身に付けてもらいたい基礎動作やしつけ事項と合わせ、感染拡大防止のため、マスクの着用や3密防止、共用

場所の使用制限等についても気を付けながら教育を実施しました。その甲斐あって卒業まで区隊要員を含め担任した新隊員の中からは、1人の感染者も出さず教育を修了する事ができました。

今回、久しぶりに新隊員の教育に携わり、自衛隊用語も分からない新隊員に対し、理解しやすい説明の難しさや教えるための準備の大変さを改めて感じるとともに、新しい事に真摯に取り組む新隊員の姿や新隊員の成長に情熱を注ぐ助教要員の姿を目の当たりにし、教育課目の他にも大事なものと気付かされました。また指導者の熱量が被教育者には必ず伝わり、心を通わす事がとても重要だと思えました。

今後も基本教育を担任する教育大隊の区隊長として訓練指導法・教育法及び心情把握についての研鑽を積み重ね、さらに良い教育訓練を目指し、努力を継続していきます。

# 最先任 上級曹長

## 「一致団結」 第12特科隊 松島 定好 准陸尉



昭和25年に創設され今年72周年を迎える伝統ある宇都宮駐屯地に所在する第12特科隊の第6代最先任上級曹長として、令和3年10月2日付で上番いたしました。

出身は日本最古の学校といわれる「足利学校」

で有名な栃木県足利市、平成元年4月、第12特科連隊(当時)に教育入隊、同連隊第5大隊第10中隊に配置以降約10年間勤務し、その後、第3地对艦ミサイル連隊(上富良野)、第6地对艦ミサイル連隊(宇都宮)での勤務を経て、平成23年3月、第12特科隊に配置になり現在に至っています。

私は、砲班長以下9人の隊員で操作する火砲F170を装備し、その絶大な火力により第一線部隊を支援することを主たる任務としています。

火砲の射撃においては、前進観測班による射撃要求、射撃指揮班による正確な射撃諸元の算定、砲班による迅速な射撃動作など、一発の砲弾

を発射するためにさまざまな部署が綿密に連携することが必要であり、より精度の高い射撃を行うために強い団結力が求められています。この団結力の強化こそが最先任上級曹長としての私の使命であり、上番以来これを達成すべく微力ながら尽力しております。

特科隊長統率方針は「任務即応」であり、全隊員が一致団結し部隊が最大限の力を発揮できるように、基本・基礎の徹底を図りつつ、あらゆる任務に即応できる特科隊の育成を目指し努力してゆく所存です。

私は平成25年に技能公募の予備自衛官補に採用されました。保有する技能は自動車整備士です。武山駐屯地での訓練を経て、26年に予備自衛官に任用されました。

父が陸上自衛官、母は元陸上自衛官で予備自衛官、叔父が海上自衛官という自衛隊一家で育ちました。幼い頃から父の仕事に馴染みがあり、物心ついた時には母が5日間の予備自衛官訓練へ出掛けていました。また妹も陸上自衛官となり現在勤務しています。私は幼い頃から自動車整備士を志し、群馬自動車大学校2級自動車整備科を卒業したのち、トヨタカローラ高崎株式会社へ入社して勤務しています。

6年間エンジニアとして主に車検整備を担当してきています。東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

3中隊に配属され、現在第1小隊の施設陸曹として勤務しています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

## 予備自衛官 群馬地方協力本部 太田 有紗 2等陸曹



合格した事を打ち明けた時に、当時の上司が制度を積極的に理解し本社へ掛け合ってくれたおかげで、社会貢献活動として訓練出頭中は出張扱い、定休日と訓練が重なりに協力的です。

現在は母と訓練出頭しています。予備自衛官補の訓練だけでは何一つ分からず不安でしたが、周りの予備自衛官が温かく迎え入れて下さり、安心して訓練しています。母はあと数年で上限年齢を迎えるので私が1人でも出頭できるようにと厳しく突き放しますが、母と同じ時間を過ごし、同じ事に取り組む良い機会でもあり、5日間訓練の中の楽しみの一つになっています。

厳しい環境へ身を置く事により心身共に鍛えられ、日頃の業務にも生かされています。町を走る車両の安全を担う女性自動車整備士、国防を担う女性予備自衛官、二足のわらじを履く者としてこれからも頑張ります。

# アズマ

## 「勝っておごらず、負けて腐らず」 関東補給処 整備計画部 座間味 夢香 防衛事務官

今月のフェアレディは、関東補給処整備計画部の座間味 夢香(さまみ ゆか)事務官です。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

友人の父が公務員で、話を聞くうちに公務員を目指すのと公務員コースのある専門学校へ進学し、平和を守る事に携わりたいという思いから防衛事務官として入隊を決めました。

Q2・入隊して特に印象的だったことは？

駐屯地内で持続走競技会、納涼大会などの行事が行われていることに驚きました。支援要員として各行事に参加しましたが、普段話したことのない人たちとのつながりができ、とても良い経験になりました。

Q3・好きな言葉はありますか？

「勝っておごらず、負けて腐らず」という言葉です。勝っても謙虚に、負けても落ちこぼれず、それをバネに頑張るという意味ですが、高校時代サッカー部に所属していた時に、顧問の先生から試合のたびに言われてきた言葉です。

Q4・やりがいを感じる時は？

職場では企画係として業務を行っていますが、予定表を正確に作成することによって、各部・各支処等がやるべきことを把握し、計画的に業務が進んでいくのを見ると、役に立っていることを実感し、やりがいを感じます。

Q5・今後の目標は？

現在の業務は隊務月報や業務計画を作成しているのですが、関東の全般を見ることもでき、とても勉強的になります。将来的には業務の幅を広げる意味も含め、厚生業務にも携わってみたいと思っています。「勝っておごらず、負けて腐らず」



今月の東方男児は、第1施設大隊第3中隊の小砂子(こすな) 3曹です。

小砂子3曹は平成27年4月に自衛官候補生として入隊し、朝霞駐屯地に所在する第1施設大隊第

## 東方男児 「堅忍不拔」 第1施設大隊 小砂子 大輔 3等陸曹



Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

東日本大震災で活動する自衛官の姿に憧れ、自分が社会に貢献できる場所が自衛隊しかないと思いい入隊を決めました。

Q2・施設科を選んだ理由は何？

東日本大震災で重機を操作する隊員の姿に憧れたこと、小さい頃から物を作るのが好きだったので、建築に携われる施設科を選びました。

Q3・現在の職務は？

施設陸曹として陣地構築、障害構成、障害処理などの訓練に励み、先輩方の親身な指導の下、日々の施設技術の練度向上に励んでいます。

Q4・休日の過ごし方は？

料理を勉強中です。食材やメニューによって火力調整が難しく、よく料理を焦がしてしまい、妻に激烈指導を受けています。

Q5・今後の目標は？

第1施設大隊の一員として部隊を盛り上げていけるよう、日々の訓練に取り組みたいと思います。また昨年、レンジャー教育課程を修了したばかりであるため、レンジャー隊員としての技術の維持・向上ができるよう、「堅忍不拔」をモットーに、レンジャー教育の助教として教育に参加し、己を磨いていきたいです。

施設陸曹として、任務にまい進する小砂子3曹の指導を受けています。

### 編集後記

自衛隊が新型コロナウイルス感染症拡大防止のための災害派遣に従事してから2年。数々の経験を経て得られた教訓を糧に、衛生科職種部隊等からの助言を参考に、部隊等は感染防止対策を講じ、オミクロン株が急速に感染拡大している状況下においても任務達成の最大限の努力を続け、創意工夫により訓練等を日々継続している。

しかし一部の行事は中止や延期または縮小を余儀なくされ、その旨を関係者に伝えたところ「私たちが中止や延長してきた行事を昨秋に消化し相当きつかったが、今思えばあの時にやっておいて良かった」という話があり共感した。方面隊が昨年のオリンピック・パラリンピック支援、観開式及び陸領に引き続き、12月から1月にかけて検閲、総監及び各部隊長の離任・年末年始行事を凝縮して行った様子を、この紙面から読み取っていただけたらどうか。

感染拡大下において、モノ、金、時間に制約がある中、自衛隊もさらなる業務の効率化が必須の時代に突入したといえよう。